



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,340	2.6	267	25.0	263	32.2	238	28.5
27年3月期第3四半期	4,230	△1.3	214	△16.8	199	△14.6	185	△11.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 230百万円 (10.4%) 27年3月期第3四半期 208百万円 (△55.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	16.04	—
27年3月期第3四半期	12.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	23,344	10,245	43.8	688.22
27年3月期	23,575	10,014	42.4	672.75

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,233百万円 27年3月期 10,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	1.5	180	△2.7	180	8.4	160	△1.2	10.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3項「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	15,000,000株	27年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	130,381株	27年3月期	130,881株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	14,869,448株	27年3月期3Q	14,870,929株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものはありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2項「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線自治体・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は4,340百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は267百万円（同25.0%増）、経常利益は263百万円（同32.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は238百万円（同28.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益または損失の測定方法を変更しており、以下の前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の測定方法に基づき作成した数値で比較をしております。報告セグメントの測定方法の変更の詳細につきましては9頁「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

〔鉄道事業〕

旅客部門におきましては、沿線地域の人口減少及び少子高齢化の影響を受け、前年同期に比べ定期旅客収入が減少いたしました。

一方、S L列車は順調に運行し、多くのお客様にご利用いただきました。

また、埼玉県地域鉄道元気アップ協働事業の一環として秩父三社（寶登山神社・秩父神社・三峯神社）をモチーフにしたフルラッピング列車の運行を開始したことや、異業種との連携などにより話題性を持たせた企画の実施の他、関係団体と協力したハイキングの開催など積極的な旅客誘致に努めました。

更に、沿線地域がマスメディアに多く取り上げられたこともあり秩父・長瀬地域には多くの観光客が訪れ、前年同期に比べ定期外旅客収入が増加いたしました。

貨物部門におきましては、前年同期に比べ輸送量が減少したことに伴い貨物収入が減少いたしました。

営業費用は、電力料金が値下がりし、加えて経費削減に努めた結果、前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、営業収益は2,614百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は18百万円（同70.7%減）となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業におきましては、深谷市緑台の分譲地販売が順調に推移したほか、請負工事収入や仲介収入が前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、営業収益は345百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は124百万円（同6.9%増）となりました。

〔観光事業〕

観光事業におきましては、長瀬ラインくだりの利便性を向上させるため、ファスト・ライド制度およびweb予約管理システムの導入を行いました。また長瀬ラインくだり創業100周年感謝フェアや季節ごとのキャンペーンなど様々な取り組みを実施した他、旅行者への営業活動やマスメディアへの取材協力を積極的に行なったことにより各施設を利用されるお客様が増加いたしました。

その結果、営業収益は314百万円（前年同期比12.7%増）営業利益は44百万円（同11.4%増）となりました。

〔バス事業〕

バス事業におきましては、貸切バスの新運賃・料金制度の定着に伴い、売上は順調に推移いたしました。

また、営業費用は、原油価格の下落に伴う軽油の値下がり等により減少いたしました。

その結果、営業収益は344百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は55百万円（同404.1%増）となりました。

〔その他事業〕

その他事業におきましては、前年同期に比べ建設事業の公共工事受注による請負工事収入や索道事業の旅客収入が増加いたしました。

その結果、営業収益は1,018百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は前連結会計年度末に比べ231百万円減少し23,344百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ93百万円減少し1,733百万円、固定資産は137百万円減少し21,611百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、分譲土地建物の減少、その他に含まれる鉄道事業に係る補助金の未収金が減少したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は減価償却により有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ461百万円減少し13,099百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ257百万円減少し3,550百万円、固定負債は204百万円減少し9,548百万円となりました。流動負債減少の主な要因は支払手形及び買掛金の減少並びにその他に含まれる設備未払金が減少したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ230百万円増加し10,245百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	891,338	1,037,783
受取手形及び売掛金	332,418	395,050
分譲土地建物	204,606	137,303
商品及び製品	29,614	31,251
原材料及び貯蔵品	91,342	91,273
その他	278,667	42,001
貸倒引当金	△1,272	△1,371
流動資産合計	1,826,715	1,733,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,656,497	13,656,474
減価償却累計額	△9,200,662	△9,330,692
建物及び構築物（純額）	4,455,834	4,325,781
機械装置及び運搬具	4,903,108	4,900,394
減価償却累計額	△4,277,917	△4,288,683
機械装置及び運搬具（純額）	625,190	611,710
土地	15,589,814	15,589,814
その他	635,577	697,592
減価償却累計額	△573,459	△585,130
その他（純額）	62,118	112,461
有形固定資産合計	20,732,957	20,639,768
無形固定資産	102,417	85,170
投資その他の資産		
投資有価証券	871,344	844,778
繰延税金資産	2,994	2,724
その他	60,569	59,348
貸倒引当金	△21,372	△20,481
投資その他の資産合計	913,536	886,369
固定資産合計	21,748,912	21,611,309
資産合計	23,575,627	23,344,601

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,728	141,950
短期借入金	1,133,498	1,219,423
1年内返済予定の長期借入金	1,237,534	1,218,498
未払法人税等	15,900	24,808
未払消費税等	135,849	91,132
繰延税金負債	175	233
賞与引当金	194,812	115,081
その他	848,529	739,801
流動負債合計	3,808,030	3,550,930
固定負債		
長期借入金	2,716,160	2,479,720
繰延税金負債	245,684	236,656
再評価に係る繰延税金負債	4,800,408	4,800,408
退職給付に係る負債	1,817,393	1,841,802
特別修繕引当金	62,400	78,000
長期預り金	111,078	112,074
固定負債合計	9,753,126	9,548,662
負債合計	13,561,156	13,099,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,921	21,915
利益剰余金	△987,873	△749,353
自己株式	△28,265	△28,157
株主資本合計	△244,217	△5,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,780	508,247
土地再評価差額金	9,759,028	9,759,028
退職給付に係る調整累計額	△37,372	△28,040
その他の包括利益累計額合計	10,247,435	10,239,234
非支配株主持分	11,252	11,369
純資産合計	10,014,471	10,245,008
負債純資産合計	23,575,627	23,344,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収益	4,230,819	4,340,326
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,989,926	3,040,086
販売費及び一般管理費	1,026,565	1,032,297
営業費合計	4,016,491	4,072,383
営業利益	214,327	267,942
営業外収益		
受取利息	222	100
受取配当金	11,531	13,775
物品売却益	956	-
土地物件貸付料	4,283	16,327
助成金収入	1,010	150
その他	21,442	12,036
営業外収益合計	39,447	42,389
営業外費用		
支払利息	50,828	42,932
その他	3,667	4,031
営業外費用合計	54,495	46,964
経常利益	199,279	263,368
特別利益		
固定資産売却益	6,347	10,745
工事負担金等受入額	4,562	78,043
補助金	-	100
その他	-	418
特別利益合計	10,909	89,307
特別損失		
固定資産圧縮損	4,194	79,426
固定資産除却及び撤去費	301	-
特別損失合計	4,495	79,426
税金等調整前四半期純利益	205,693	273,248
法人税、住民税及び事業税	19,851	34,279
法人税等調整額	244	327
法人税等合計	20,096	34,606
四半期純利益	185,597	238,642
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,581	238,519

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	185,597	238,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,984	△17,538
退職給付に係る調整額	12,107	9,331
その他の包括利益合計	23,092	△8,206
四半期包括利益	208,689	230,435
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,670	230,318
非支配株主に係る四半期包括利益	18	116

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,728,323	290,828	278,839	313,678	3,611,670	619,148	4,230,819	—	4,230,819
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	10,881	4,968	286	740	16,876	291,697	308,573	△308,573	—
計	2,739,204	295,796	279,126	314,419	3,628,547	910,845	4,539,393	△308,573	4,230,819
セグメント 利益又は損 失(△)	64,779	116,651	40,290	11,097	232,817	△28,594	204,223	10,104	214,327

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10,104千円には、固定資産未実現損益の消去額895千円、セグメント間取引消去9,208千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,604,798	340,175	313,917	344,296	3,603,187	737,138	4,340,326	—	4,340,326
セグメント間の内部 営業収益又は振 替高	9,289	4,968	701	173	15,132	281,800	296,933	△296,933	—
計	2,614,088	345,143	314,619	344,469	3,618,320	1,018,939	4,637,260	△296,933	4,340,326
セグメント 利益	18,998	124,735	44,886	55,939	244,558	12,924	257,483	10,459	267,942

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額10,459千円には、固定資産未実現損益の消去額1,023千円、セグメント間取引消去9,436千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの経営成績をより適切に反映させるため業績管理方法を見直したことに伴い、当社における出向者人件費に係る費用の配賦方法を各セグメントの事業実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

5. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	4,111	4,201	△2.1
	定期外	〃	2,237	2,225	0.6
	計	〃	6,349	6,426	△1.2
貨物トン数		千トン	1,495	1,730	△13.6
旅客収入	定期	百万円	577	590	△2.3
	定期外	〃	936	925	1.2
	計	〃	1,513	1,516	△0.2
貨物収入		〃	891	1,028	△13.4